



2006.2.28

民主党プレス民主編集部
〒100-0014
東京都千代田区永田町1-11-1
電話 03-3595-9988(代表)
press@dpj.or.jp
http://www.dpj.or.jp
民主党愛知県総支部連合会
名古屋市東区泉1-12-34
セントラルアベニュー1223 9F
電話 052-951-7881



[愛知県総支部連合会・第7回定期大会開催 / 『民主党愛知県総支部連合会』2006年度・役員一覧 / 2006年度活動方針\(抜粋\)](#)

愛知県総支部連合会・第7回定期大会開催 2006年度活動方針を決定

新代表に近藤昭一衆議院議員、新幹事長に塚本久県議会議員

2月19日(日)10:00～市内ホテルにて第7回定期大会を開催し2006年度活動方針、役員、予算などが承認された。

議長団には5区総支部から松田功氏(西春町議会議員)、12区総支部からは加藤繁行氏(岡崎市議会議員)が選出され、開会した。来賓には神田真秋愛知県知事、松原武久名古屋市長、堀下猛愛知連合会長が駆けつけお祝いの言葉を頂いた。

議事に入り、2005年度党務報告・総括、第44回衆議院総選挙総括、会計・会計監査報告、規定類の改正報告が行われ、2007年度活動方針が提案され決議された。(2006年度活動方針活動方針(抜粋)掲載)

特別報告では、政策調査会から前田雄吉会長(衆議院議員)がポスト万博のための「愛知ビジョン2020【素案】」を発表、今後充実させ2007統一地方選挙での政策「あいち版マニフェスト」の策定を進めることを明らかにした。

今大会で新代表に選出された近藤昭一衆議院議員は「苦難の中での出発ですが、県連再生への糧としてまいります。弱肉強食型の政治が進んでいます。一生懸命に働いても安心感がもてない、政治が不在と言わざるを得ない。民主党が今こそ再生してみなさんの声をしっかりと聞き、受け止めていかなければならない。すべてのみなさんと共に安心・安全な社会をつくっていきたい」と抱負を述べた。幹事長には塚本久県議会議員が選出された。(新役員一覧掲載)

最後には党本部へ公認申請する第一次地方統一選挙公認推薦候補者が発表され、必勝決議をおこない閉会となった。



あいさつを行う片桐清高総務局長



抱負を述べる近藤昭一代表

[▲
top](#)

『民主党愛知県総支部連合会』2006年度・役員一覧

1. 四役および幹事

代表	近藤 昭一	(新)	衆議院議員
副代表	牧 義夫	(留)	衆議院議員
副代表	直嶋 正行	(新)	参議院議員
副代表	大塚 耕平	(新)	参議院議員
副代表	中村 友美	(留)	県議会議員
副代表	早川 良行	(留)	名古屋市会議員
幹事長	塚本 久	(新)	県議会議員
副幹事長	もろくま 修身	(新)	名古屋市会議員
総務局長	住田 宗男	(新)	県議会議員
経理局長	田中 里佳	(新)	名古屋市会議員
選挙対策委員長	伴野 豊	(新)	衆議院議員
同 副委員長	黒川 節男	(新)	県議会議員
同 事務局長	おくむら 文洋	(新)	名古屋市会議員
政策調査会長	前田 雄吉	(新)	衆議院議員

同 副会長	浜崎 利生	(新)	県議会議員
同 副会長	服部 将也	(新)	名古屋市会議員
組織局長	榊原 康正	(新)	県議会議員
自治体議員フォーラム担当	近藤 良三	(新)	県議会議員
労働局長	高木 ひろし	(新)	県議会議員
県民運動委員長	水野 豊明	(新)	県議会議員
男女共同参画委員長	うかい春美	(新)	名古屋市会議員
広報委員長	加藤 一登	(新)	名古屋市会議員
幹事	長江 幸彦	(留)	7区総支部・県議会議員
幹事	杉本 和巳	(留)	10区総支部
幹事	中根 康浩	(留)	12区総支部・前衆議院議員
幹事(総務局長兼務)	住田 宗男	(留)	13区総支部・県議会議員
幹事	森本 和義	(留)	15区総支部
幹事	度会 章仁	(留)	連合愛知・事務局長

2. 顧問

常任顧問	赤松 広隆	(留)	衆議院議員
常任顧問	古川 元久	(留)	衆議院議員
顧問	河村 たかし	(留)	衆議院議員
顧問	岡本 充功	(留)	衆議院議員
顧問	古本 伸一郎	(留)	衆議院議員
顧問	鈴木 克昌	(留)	衆議院議員
顧問	佐藤 泰介	(留)	参議院議員

3. 会計監査

会計監査	原田 信夫	(留)	県議会議員
会計監査	吉田 伸五	(新)	名古屋市会議員

2006年度活動方針（抜粋）

活動方針

1.党県連改革のために。

1. 党県連改革を最優先課題として取り組む。
「刷新プロジェクトチーム」を発展させた「パワーアップチーム（仮称）」を設置し、候補者選考のあり方についてを最優先に議論し答申を求める。その際、中間展望にたつて、イギリスにおける「予備選システム」等を含め、検討を加える。又、議員・候補者の活動についても、内容の充実や透明性の確保を高める仕組みづくりを検討する。
2. 県連機関の役割と任務の明確化、各議員団の位置付けの深化など、「刷新プロジェクトチーム」の答申を踏まえた改革をすすめる。
3. 民主党の基本組織である総支部を重視し、活動の活性化、総支部・支部運営等、組織のあり方を検討する。
4. 本年も国会議員の公設秘書の勤務実態調査を実施する。また、その中で異動があった場合の速やかな報告書の提出などを、総支部と連携し取り組む。
5. 公職選挙法や政治資金規正法への理解を深めるため、「国会議員秘書連絡会」を開催し、学習会や親睦会、意見交換などを推進する。

2.政策立案活動を重視する。

1. 地域の政策担当能力を高め、その活動を活性化する。昨年、中間まとめをおこなったポスト万博のための「愛知ビジョン2020」を充実させ、2007統一地方選挙での政策「あいち版マニフェスト」の策定を進める。
2. 県連政策調査会のサポートにより、総支部主催の「タウンミーティング（仮称）」や「マニフェスト集会（仮称）」を企画する。
3. 経済団体や中小企業団体を中心に業種別懇談会を企画し、新たな支援策等の政策提言・実現を図る。
4. 障害者自立支援法の施行に伴う諸問題について、障害者団体と連携を深め、自治体の適切な対応を求める活動を展開する。

3.「愛・地球博」の成果を活かすために。

1. 排ガス規制の強化を始めとする地球温暖化防止の地域目標を達成するとともに、「自然との共生と環境にやさしい街づくり」、環境教育の推進など、先進県づくりをめざす。
2. これらを通じ、引き続き世界に環境保全のメッセージを発信する。

4.子どもの安全確保と少子・高齢社会対策

1. 通学路の点検運動をはじめ、児童虐待対策、不登校・ひきこもりの相談など、児童相談所の機能を高め、地域の児童委員を中心に、教員OBのボランティア参加による「子ども安全センター」（仮称）を関係方面の協力を得て検討する。

2. 30人学級の実現を急ぐ。
3. 子どもの医療費、児童手当の改善、保育所・学童保育などとともに、子育て相談施設の充実など、子育て支援対策をすすめる。
4. 高齢者の雇用の促進、社会参加と生きがい対策も重要である。特に、高齢者の住みやすい街づくりは、環境問題でもあり、また、お年寄りや子ども、主婦の子育て、防災など、商店街のコミュニティ機能に着目した街づくりを進める必要がある。

5. 昨年の「災害とNPO」の意見交換会を生かし、行政・消防による防災体制を充実させ、区政協力委員・消防団等の地域防災組織に加え、地域の災害ボランティア組織や商店街、企業の協力など、地域防災組織の実行化をはかる活動をすすめる。

6. 地域外交を推進するため、愛知県、名古屋市などの姉妹提携都市との交流をすすめ、具体的な活動を検討する。

7. 各種選挙準備への対応

1. 次期統一地方選挙対策
 - (1)「地方から政権交代を！」をスローガンに、「2007統一地方選挙候補者擁立委員会」を継続設置する。
 - (2) 県議会・名古屋市議会選挙においては定数に応じた候補者数を擁立することを原則とし、5人区以上の選挙区には2名以上の候補者擁立を目指す。また、2人区以上の選挙区では必ず候補者を擁立するほか、自民党過半数割れを達成するため、1人区においても積極的に候補者擁立をめざしていく。
 - (3) 5月目途の第二次公認推薦補者への積極的な擁立作業を進める。
 - (4) 第2次公認以降は、候補者選考の透明化を前提に、公募方式など、大胆な候補者選考をすすめる。
2. 次期県知事選挙対策
政策本位の候補者選定を進めるため、これ迄の愛知県政をあらゆる角度から総括しなければならない。その過程で民主党県議団の意向を尊重しつつ、党内はもちろんのこと、県民市民に分かりやすい候補者選考を推進していく。
3. 次期国政選挙への対応
 - (1) 衆議院議員空白区となった党総支部の再構築を進める上で、まずは空白区における内定候補者の選定を急ぐ。最終決定権は党本部にあるとは言え、『パワーアップチーム(仮称)』から「候補者選考システム」の早急な答申をしてもらい、有権者の信頼と納得の得られる候補者を選考し、総支部機関会議の決定、県連幹事会の承認を厳格におこなう。
 - (2) 次期参議院通常選挙の準備も進めなければならない。党本部方針を踏まえつつ、本部選対と連携し他党の状況など、情勢分析をおこないつつ、出来る限り早い段階で候補者を決定し、必勝体制を構築する。

8. 党勢拡大と組織整備をすすめる。

1. 県連全体で、1万名の党員・サポーター登録を目指す。

2. 議員・候補者の拡大目標を以下の通りとする。
 - (1)国会議員は党本部の拡大方針を考慮しつつ1人500名の黨員・サポーター獲得を目指す。その内、黨員は50名以上とする。内定候補者は1人300名の黨員・サポーター獲得を目指す。その内、黨員は30名以上とする。
 - (2)県議会及び名古屋市議会議員は1人20名の獲得を目指す。(内、黨員15名以上)
 - (3)一般市議会議員は1人10名(内、黨員7名以上)、町会議員は1人5名(内、黨員3名以上)の獲得を目指す。
3. 地方自治体議員の入党を促進する。総支部と連携し、地方議会において無所属となっている議員の入党を可能な限り促進する。
4. 「刷新プロジェクトチーム」の県連改革「答申」を踏まえ、規約および党費等運営規定の改正をおこなう。

9.東海州議会の活性化

3年目を迎えた「東海州議会」へ本年も積極的に参加し、その活動の充実を図る。地域主導の基本にたった「連邦・分権 国家」への具体的な道筋とその姿を検討する。

10.自治体議員フォーラムの強化

1. 「自治体議員フォーラム・愛知」の会員拡大、自主的運営及び活動を積極的にサポートする。
2. 「地方自治法改正」を視野に入れて、地方議会の立法機能(予算をとまなう条例の制定権)を高めるなど、地方議会改革をめざす。
3. ホームページにおける広報活動を推進する。特に地域におけるタイムリーな話題や課題等を盛り込み、親しみやすいフォーラム独自の運営に取り組み。

11.男女共同参画社会の推進と人権の擁立に取り組み

1. 2007統一地方選挙擁立委員会と連携し、女性地方議員候補者の発掘を進め、活動を支援していく。また、党本部の民主党WS基金「Water&Seed／種と水」、貸付制度を有効活用し資金援助をおこなう。
2. 「女性議員ネットワーク推進会議(仮称)」への参画と全国・党ブロック間のネットワーク作りを進める。また、適時、女性に関わる課題等の学習会・研修会を企画し、情報の共有を図る。
3. 人権団体・諸団体などNPO・NGO団体と予算ヒアリングや政策・意見交換会をすすめるなど、日常的な連携強化に努める。また、外国人労働者問題、在日外国人の人権問題等に取り組み。

12.連合愛知をはじめ諸団体との連携、県民運動の推進

1. 連合愛知との連携を強化する。特に総支部と地域協議会との連携を強化する取り組みを推進する。
2. 連合愛知役員と県連役員との意見交換を積極的に進めるため、意見交換会、政策懇談会、学習会などの定期開催を目指す。また各議員団との意思疎通・共有を図るため、議員団との政策懇談会等の開催を進める。
3. 昨年発足した連合愛知政策推進議員懇談会(議員懇)への積極的な参画を推進し、

勤労者・生活者の視点に立った諸制度実現に向け、国会議員・地方自治体議員の一体となった取り組みを進める。

4. 部落解放愛知県共闘会議との連携強化を図り、部落差別をはじめ、あらゆる差別の解消・人権制度確立に向けた取り組みを強化する。
5. 引き続き、NPO諸団体との意見交換や連携をすすめるとともに、恒久平和を築くため、第28回「8・15平和のつどい、コンサート」を企画する。

13. 広報宣伝活動

1. 引き続き「プレス民主」号外あいち版の定期発行と内容の充実を目指す。
2. タイムリーなホームページの充実した内容更新と、民主党地方議員の活動や地方議会での取り組み等の掲載を進める。
3. 国政や地方議会で重要課題となる事項に対応し、街頭宣伝活動やプレス民主号外の発行を、総支部と連携し取り組む。

14. 党財政の基盤整備

1. 党勢拡大・議員拡大による県連・総支部の基本財政の強化を図る。
2. 総支部においての党費滞納を解消する。
3. 政治資金規正法による政治資金パーティーを開催する。

終わりに

民主党県連は、昨年の政権交代をかけた衆議院総選挙結果を真摯に受け止めるとともに、自己改革と再生への強い決意をもってこの一年、全力で取り組む。この間の選挙において多くの支持・期待を集め、衆参合わせて国会議員14名と地方議員合わせて100名を超える全国でも屈指の党組織となった。この事は、今の自・公政権に不満を抱く県民市民が、わが党に期待する声となった現れでもあることも事実である。私たち県連は、それに応えているかどうか、常に真摯な問いかけが必要である。今こそ結党の精神に立ち返り、自己改革をすすめながら、「市民が主役」の政治を推進し、未来と政治にかける県民の夢を、私たち民主党が体現しなければならない。民主党への漠然とした期待を、強固な支持へと変えることが、わが党の生命線であり、政権交代を現実のものとする最も大切な要素である。全党員の更なる奮起を期待するとともに、民主党に期待をよせる県民のみなさんに、共に歩んでいただくよう心から訴える。


[top](#)

インターネット・アドレス

<http://www3.ocn.ne.jp/~minshu7/>
e-mail:minshu@dream.ocn.ne.jp



[top](#)